

ショッピング A (SHOP)

【セクター】 ソフトウェア

【市場】 NYSE

【企業概要】

オンラインストアの構築、管理を行うプラットフォームを提供するカナダの企業で、世界175カ国で100万以上のアクティブストアを運営しています。デザイナーが作成したテンプレートを基にウェブサイト簡単に作成することができるほか、商品の在庫管理、クレジットカードや「Apple Pay（アップルペイ）」などの幅広い決済方法への対応、フェイスブックやインスタグラム上での決済サービスの提供、グーグルやフェイスブックなどへの広告の掲載、配送の管理などのサービスを提供しています。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

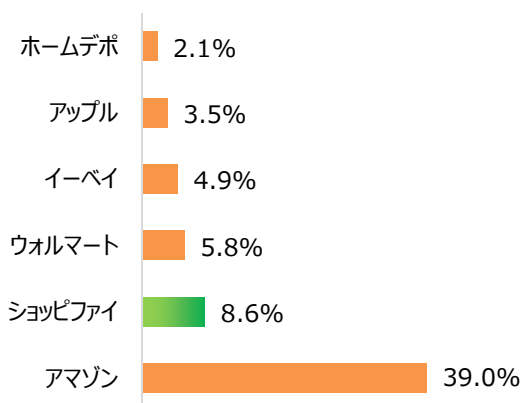
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
19.12期	1,578	52	0.30	-	-	-4.9	86.4
20.12期	2,929	491	3.98	-	-	6.8	82.5
21.12期（予）	3,997	432	3.78	0.00	45.0	9.1	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

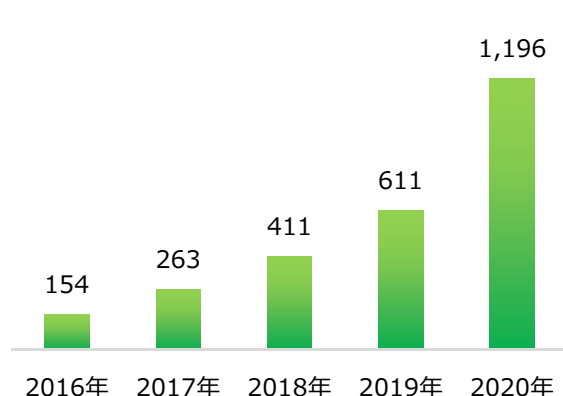
【主要指標】

米国eコマース市場シェア（2020年、GMVベース）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

取扱高（GMV）の推移（億ドル）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

【会社の見方】

米国ではリテール向けeコマース市場でアマゾン ドットコムに次ぐ2位となっています。企業がアマゾンで商品を販売する場合はどうしてもアマゾンのウェブサイトデザインを合わせることが必要であり、自社ブランドの独自性を出すことが難しくなる傾向がありますが、ショッピングAのプラットフォームを利用することで自社オリジナルのウェブサイトを作成し、差別化を図ることができるという点が同社の魅力の1つとなっています。また、新型コロナの感染拡大を受け、同社のサービスへの需要が一段と高まっています。

【見通し・注目点】

10-12月期は売上高が前年同期比94%増となるなど、引き続き非常に好調な業績が示されました。また、直近は決算発表とは別に、フェイスブックやインスタグラム内で開設されたオンラインストアで、ショッピングAが提供する決済サービス「Shop Pay」の利用が可能になったことなども注目されています。

（SBI証券 投資情報部 中川 潤一）

（更新日 2021/2/25）

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。